

地域情報

山陽新聞

back

備後版

## 幽玄の世界 仕舞鑑賞

福山市  
老人大学 大島能楽堂で講座

福山市老人大学(同 師に、初の能講座を開いた。市地吹町)は一般教養として十三日、同 市内には、伏見城から移築された国指定重要文化財の能舞台が沼名前大島衣恵さん(三三)を講師(同市鞆町後地)に

残る。こうした伝統文化に対する理解を深めようと、受講生約三百二十人が参加した。

講義では、大島さんが観阿弥、世阿弥について「室町時代に二人が文化的エッセンスを取り入れ、能を大成させた」と説明。「(舞台正面奥の)鏡板に描かれた松には神が宿るとともに、不変の象徴となっている」と舞台上に込められた意味を話した。

受講生は、大島さんから指導を受け「柄のむろの木の一節の謡を勉強。最後は大島さんの「高砂」の仕舞を鑑賞し、幽玄の世界に浸った。

同市野上町、延平勝子さん(六八)は「敵爾で美しい能の魅力が少しは理解できた。また舞台を見に行きたい」と話していた。

大島さん(右)から能の講義を受ける老人  
大学受講生



(安河内誠)